

西下經一 にしげ いちいち 國文學者、文學博士。明治二十一年五月十日岡山縣津山生れ。昭和二十九年一月十七日歿（八六―一九六四）。舊姓岡村。號香軒。東京音響美術範學校を經く、昭和二年東京帝國大學文學部國文學科卒。四年第六高等學校教授、二十四年岡山大學教授、二十九年東京教育大學教授、二十六年上智大學教授。

著書に、『史料日記』（校訂、昭和五年五月）二十日岩波書店「岩波文庫」、のち八年四月二十五日「岩波文庫教科書版」、『後松村遺和歌集』（校註、昭和十五年二月）二十六日岩波書店「岩波文庫」、『和歌史論』（昭和十九年十一月五日至文堂）、『國文學の葉』（志村士郎共編、昭和二十一年四月）二日聲楽書房）、『初雁』（西下淑子編、昭和四十年二月十五日京都・初音書房）等。その他藏書目録『初雁文庫目録』（昭和四十四年）西下淑子「あとのまき」、無刊記）、國文學研究資料館編『初雁文庫主要書目解題』付初雁文庫目録』（昭和五十六年）二月二十一日明治書院「國文學研究資料館共同研究報告」がある。

